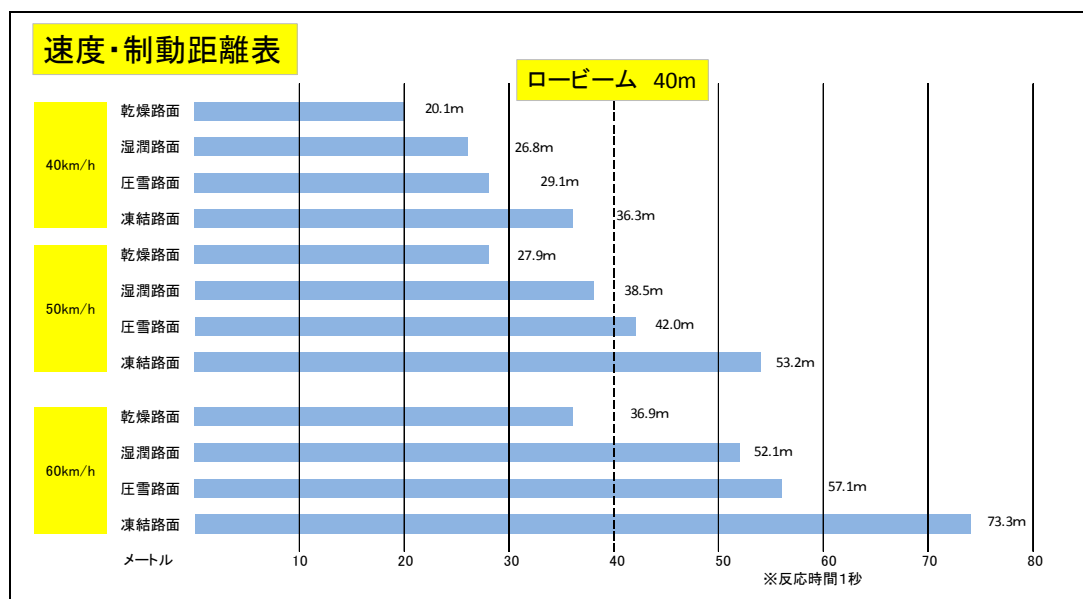


参考資料



ロービームの照射範囲は約40mですので、照射距離内に入った直後に歩行者を発見しても回避できる状況は限られています。

例えば、真暗闇の凍結路面をロービームで時速50kmで走行した場合、前方の歩行者を発見してブレーキをかけても間に合わず交通事故を起こしてしまいます。

このような場合、ロービーム走行がいかに危険であるか認識する必要があります。

したがって、夜間、歩行者等を早く発見するためにはより遠くまで確認できるハイビームが有効です。

前照灯は

- ・ 車両等と行き違う場合
- ・ 他の車両の直後を進行する場合

はロービームを使用しなければなりません

- ・ 他に車両がない場合

はこまめにハイビームに切り替え視界を広くし、安全運転に努めましょう。

道北のみちを照らす

ハイビーム

明るい色の服装



夜光反射材

夕暮れ・夜間の歩行者事故防止!!

旭川方面交通安全協会・旭川方面安全運転管理者協会・北海道警察旭川方面本部